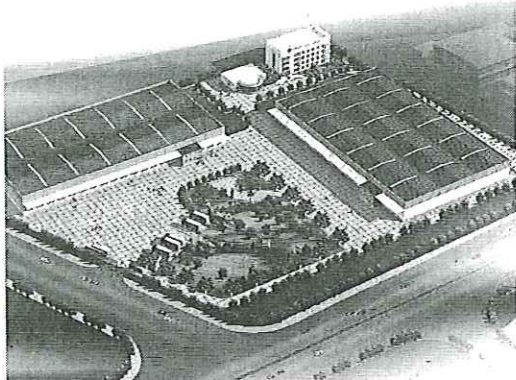


中国の南京で稼働したセンター(イメージ図)



海外物流ネット拡充

タイ・ベトナムに拠点

日本梱包

【鹿野島智子】日本梱包運輸倉庫は海外物流ネットワークの拡充に取り組む。二〇〇八年十二月、中国・南京に同国で自社最大規模の物流センターを本格稼働させたのに引き続き、ことし二月にはタイのロジュアナ、ベトナムのハノイにそれぞれ大型物流拠点を完成させる。海外物流拠点の拡充・強化で取引先の旺盛な物流ニーズに応えるとともに、海外での事業収入の拡大を加速させていく。

中国・南京の物流センターも併設。自動車部は南京江寧科学園区品などの取り扱いが中心に立地し、延べ床面積一で、中国国内での物流業万六千平方メートルの規模を誇る。中国では自社最大規模の施設で、中国法人の米でも自動車関連部品、

二輪完成車向けの物流施設の拡充に取り組んだ。

四月、タイのアユタヤに一万平方メートル規模の物流センターを開設。さらに、九月には米国オハイオ州の物流施設で九千三百平方メートルを増床し、取り扱い能力を引き上げた。

引き続き、ことし二月にはタイのロジュアナ、ベトナムのハノイに、それぞれ物流センターが完成、本格稼働する。延べ床面積はタイが二万平方メートル、ベトナムが一万七千平方メートル規模で、いずれも

自動車関連部品向けの物流センターとしての機能を果たしていく。

日本梱包によると、〇八年度の海外での設備投資総額はおよそ十四億五千万円となる見通しで、新設・拡充した倉庫の総面積は六万二千平方メートルとなる。〇八年四月九月期の海外売上高(北

米、アジア)は百九億四千万円、連結に占める海外比率は一四・五%に引き上がった。黒岩秀隆社長は「国内の伸びに期待している。現在、中国の上海や広州などの沿岸部での事業が活発だが、今後、中国の人口増加や生活レベルの

向上を見込み、中国内陸部での事業展開を強化していきたい」としている。